

令和元年度 第1回

「帯広市地域自立支援協議会 就労・社会活動部会」を開催しました。

過日、令和元年9月10日に第1回「帯広市自立支援協議会 就労・社会活動部会」を開催しました。この部会は関係機関が集まり、就労支援・生活支援・定着支援等の支援力の向上や関係機関との連携構築の場とすることを目的に、平成19年の開設当初より様々な関係機関と連携して行っておりましたが、平成28年度からは帯広市と協同で自立支援協議会の部会として開催しております。今回も福祉、行政、教育、企業などの関係機関より120名の方にご参加いただきました。特に最近では企業の方からの参加が増加傾向にあり、障がい者雇用への関心が高まっていることが感じられます。



今年度1回目となる今回は、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構北海道支部 北海道障害者職業センター主任障害者職業カウンセラー 高橋 真也氏をお招きし、『障がい特性（知的障がい・発達障がい・精神障がい）と職業的課題、及び支援上の留意事項』についてご講義いただきました。

各障がいの特性や支援のポイントをわかりやすくお話して頂き、これから障がい者雇用を進めようと考えている企業の方やこれまで障がいをお持ちの方と関わりの少なかった方にも、理解を深めるために適した内容になっていたと思います。

また「場面の構造化」「指示系統の統一」「キーパーソンの配置」「業務の振り返り」など、障がいをお持ちの方が職場で就労を継続していくために有効な支援方法が多数紹介されており、実際の現場で今後活用していただける内容になっておりました。



後半では、参加者が6~8名でグループワークを行いました。障がい者雇用の現場から出た個別の事例を題材に、それぞれの立場からよりよい支援について意見を出し合いました。グループワークを通じ、雇用している企業の方が実際に悩んでいることやうまくいった支援方法、各種制度の活用方法など、現場の声が積極的に飛び交い、情報交換の場ともなっていました。それぞれの立場から色々な意見を出し合うことにより、支援の幅を広げるよい機会にもなったと思われれます。このように関係機関が一同に集まり、意見交換や情報交換を行うことは、地域の連携構築の強化や就労支援の底上げにつながるものと考えております。

今年度2回目の部会は11月14日に開催いたします。内容は実際に障がい者雇用を進めている企業の方にご協力いただき、事前に身につけてもらいたいことや知っておきたい情報、就職後に求めている支援など、雇用側からの視点で障がい者雇用についてお話いただくと考えております。是非皆様ご参加ください。

今後もそれぞれの立場に合わせて必要な内容を提供していきたいと考えておりますので、皆さまの要望やご意見を頂ければ幸いです。今部会にご参加いただき、誠にありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。